

## 会議結果報告

1 会議の名称

平成29年度第2回光市環境審議会

2 開催日時

平成29年12月14日（木）15時～16時40分

3 開催場所

市役所本庁大会議室1号

4 出席人数

委員8人（6人欠席）、事務局7人

5 公開・一部非公開の別

公開

6 会議の議事録（要旨）

（1）開会

（2）会長あいさつ

今回の議題は報告事項がほとんどだが、忌憚のない意見をいただきたい。

（3）委員紹介

交代委員の紹介

（4）議事

ア 「第2次光市環境基本計画」の取組状況について

事務局より配布資料に沿って説明

**【質疑・意見等】**

（委員）

環境学習・自然体験学習等の開催数について、目標が10回であるのに対し、近況値が6回となっておりギャップがあることの原因は何か。

（事務局）

策定当時は、学校での開催を想定し10回の目標を設定した。これまで、投げかけはしているものの、目標回数までの開催が難しいのが現状。

（委員）

農業振興拠点施設「里の厨」に設置されている急速充電器の利用頻度はどのくらいか。

誕生記念植樹について、サクラだけでなくクロマツの植樹にすることはできない

か。

(事務局)

急速充電器については、一月あたり100件程度の利用がある。

クロマツの植樹については、大きくなるものでもあり、制約も含め、検討課題として所管に伝えたい。

(委員)

植樹については、病虫害について市の方で責任を持つのか。

(事務局)

市が管理する土地に植えていることから、定期的な管理をしている。

(委員)

記念植樹の関連になるが、植えたことも忘れていくので、10年、20年といった節目を機に、成長を知らせるはがき1枚でもくれば、思い出して足を運ぶきっかけにもなるし、嬉しいのではないかと思う。

(事務局)

ご提案として承る。

イ 「第2次光市環境基本計画」中間見直しのための市民アンケート調査結果について

事務局より配布資料に沿って説明

【質疑・意見等】

(委員)

満足度の高いものの3位に「山や森林など自然の緑の美しさ」があるが、市としてどの程度緑を残していかなければならないという指針のようなものがあるのか。

(事務局)

緑の割合というような数値的なものは設けていない。ただ、森林経営計画に則った竹林の伐採や広葉樹の植樹などは行っている。なお、街路樹や公園等の緑地の割合等については把握していない。

開発行為については、個別法において厳格に規制され、適法に行われているので、ご安心いただきたい。

ウ 「第2次光市環境基本計画」リーディングプロジェクトの改定について

事務局より配布資料に沿って説明

【質疑・意見等】

(委員)

門柱や玄関の照明をLED化することにより、防犯と省エネを兼ね備えることができると思う。例えば、そういった取り組みを行う自治会等に対して助成をするようなことはできないか。

(事務局)

個人住宅の照明については、公共的なエリアではなく、検討が必要。ご提案として承る。

(委員)

「プラス1の視点」に関連した取組みとして、家庭の完全LED化を市として無償で実施することを検討してみてもどうか。

(事務局)

個人の資産に対して全てというのは行政としてはなかなか踏み込めないところ。

今年度から、LEDの補助制度については、ずいぶん柔軟になり、1基でも補助の対象となっている。家まるごとLEDという課題については、補助対象を5基までに広げている。

また、昨年度は設置費用4万円以上、2基以上設置という制約があったが、1基からに制度改正したことで、ご高齢の方の申請も増えた。

(委員)

風光明媚なコバルトラインを活かして、海岸線や大和路を走るような自転車レースなどを考えてはどうか。こうした取組みにより、地域の活性化といった相乗効果も期待できると思う。ぜひ、光をアピールするようなものを考えていただきたい。

(事務局)

自然環境とスポーツのリンクということで、昨年度から虹ヶ浜海岸を利用して「サンセットビーチラン」を開催している。自然の中で、自然を活かして、自然と親しみながら、何ができるかは、今後の大きな課題と思っている。

(委員)

「LED照明を導入している公共施設数」や「街路灯のLED化率」といった数値目標について、その定義を示したうえで目標を掲げた方がよいのではないか。

(事務局)

「LED照明を導入している公共施設数」については、室積コミュニティセンター、給食センター、老人保健施設まほろばが該当する。これは、延床面積に対して50%以上LED化している施設を挙げている。また、街路灯については、811本中4本しかLED化されていない。今後、こうしたものを中心にLED化を進めていきたいと考えているが、確かに数値の定義を示さなければわかりにくいことから明記していきたい。

(委員)

「市域全体からの温室効果ガス排出量」について、製造業といった工場などが多い市は数字も大きくなってくると思われる。漠然と数値を出しても意味がないと思われるので、製造部門を除いた数値や、一人当たりの数値などで表した方が意味があるのではないか。

(事務局)

数値として市域全体のものは把握しておかなければならないが、行政として呼びかけるのは、特には家庭であり、環境指標として民生部門を抽出するかどうか検討させていただきたい。

なお、市域全体の数値については、前期でも挙げているものであり、継続性を持たせる意味でも挙げなければならぬと考えており、民生部門について追加するかどうかを検討したい。

エ 光市の環境について

事務局より配布資料に沿って説明

【質疑・意見等】

(委員)

大町住宅排水路の大腸菌群数の数値が高いことに関連して、下水道整備は進んでいるのか。また、大腸菌が下水の浄化に影響するのか教えていただきたい。

(事務局)

大町住宅については整備をほぼ完了しており、松原についてもおおむね完了している。接続については全てを把握できないが、こうした数値に鑑みると、未接続があると考えられる。

また、一部上流域で農業用水路を兼ねているところがあり、河口が塞がっている水路であることから、よどみが発生することも要因のひとつと考えられる。

なお、大腸菌については、糞便由来のものだけでなく、土壌や植物といった自然界に由来し、数値として現れることもあるのでご理解いただきたい。

また、河川に関しては、水量によって群数として増減することがあることも考えられる。

オ その他

事務局より、今後の審議会開催の予定、「省エネ活動キャンペーン」、「知ってみよう！明るい社会を創造する LED 照明セミナー」のご案内

(5) 閉会

(部長あいさつ)

本日はお忙しい中お集まりいただき感謝申し上げます。また、委員の皆様からは貴重なご意見、ご提言をいただき重ねて感謝申し上げます。